

【2023 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科・福祉心理学科】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
社会保障論Ⅱ		(社.精)必修 (発)選択	2	3	前期
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
上川 心	講師控室	kyoumu		授業終了後質問を受付	
授業の目的・概要	<p><目的>国民すべての生活のなかで、必要な病氣・死亡・老後の所得保障・医療保障・福祉サービス等の社会保障全般について、その仕組みと内容を具体的に理解し説明できるようになることを目的とする。 <概要>本講は、社会保障の柱である年金保険制度・医療保険制度・介護保険制度・雇用保険・労働保険などの社会保険と社会福祉の仕組みと内容等について、同時双方向型授業を通じて教科書・添付資料をもとに学習し、その後にフィードバックを行い本講の要点となる内容について、理解を深める。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習)	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技	<input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> プレゼンテーション	<input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク
学習上の助言	社会保障制度をしっかりと理解するためには、事前に教科書を精読し、講義の前週に配布する予習復習プリントに沿って、専門用語や内容について下調べを行ったうえで講義を受けることが望ましい。				
教科書	最新 社会福祉士養成講座・精神保健福祉士養成講座 7 社会保障/編：一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟/中央法規出版				
参考書	特になし				
外部教材	特になし				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	生活保護制度の仕組みと内容について理解し説明することができる。		WP(3)、(5)		
②	諸外国における社会保障制度について理解し説明することができる。		HSU(6)、WP(3)、(5)		
③	年金制度、社会手当制度の仕組みと内容について理解し説明することができる。		HSU(1)、(3)、(5)		
④	医療保険制度の仕組みと内容について理解し説明することができる。		HC(3)、WP(5)		
⑤	介護保険制度の仕組みと内容について理解し説明することができる。		HC(3)、WP(5)		
⑥	労災保険制度と雇用保険制度の仕組みと内容について理解し説明することができる。		HC(3)、WP(5)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	オリエンテーション(授業の進め方、評価についての説明)のち、社会保障制度の体系を学習する。	講義	シラバスを読み全体像を把握してくる。	4	
2	医療保険制度の概要(体系)について詳細に学習する。	講義	教科書第5章第1節を精読し予習復習をする。	4	
3	医療保険制度(保険給付の種類と内容、財源など)を詳細に学習する。	講義	教科書第5章第1節を精読し予習復習をする。	4	
4	医療保険制度(財源や日本の特徴、助成制度)を詳細に学習する。	講義	教科書第5章第1節を精読し予習復習をする。	4	
5	介護保険制度の仕組みを詳細に学習する。	講義	教科書第5章第2節を精読し予習復習をする。	4	
6	介護保険制度の利用手続き・保険給付を詳細に学習する。	講義	教科書第5章第2節を精読し予習復習をする。	4	
7	年金制度(概要と財政)について詳細に学習する。	講義	教科書第5章第3節を精読し予習復習をする。	4	
8	年金制度(給付とその種類)について詳細に学習する。	講義	教科書第5章第3節を精読し予習復習をする。	4	
9	年金制度(財政と課題)について詳細に学習する。	講義	教科書第5章第3節を精読し予習復習をする。	4	
10	労災保険制度を詳細に学習する。	講義	教科書第5章第4節を精読し予習復習をする。	4	
11	労災保険(雇用保険制度)について詳細に学習する。	講義	教科書第5章第4節を精読し予習復習をする。	4	
12	生活保護制度を詳細に学習する。	講義	教科書第5章第4節を精読し予習復習をする。	4	
13	社会手当制度(児童手当など)を詳細に学習する。	講義	教科書第5章第6節、第7節を精読し予習復習をする。	4	
14	諸外国の社会保障を詳細に学習する。	講義	教科書第6章第1節を精読し予習復習をする。	4	
15	社会保障の国際比較を詳細に学ぶ。	講義	教科書第6章第2節を精読し予習復習をする。	4	
試	定期試験を実施する。 多制度評価・評価のポイントを参照する。				

【2023 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科・福祉心理学科】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計	
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他		
		70	0	0	0	30	100	
総合力指標	知識・技術力	50	0	0	0	10	60	
	思考・推論・創造する力	20	0	0	0	10	30	
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0	
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	5	5	
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0	
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	5	5	
		0	0	0	0	0	0	
評価のポイント						フィードバックの方法		
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点						
試験	①	✓	期末試験を実施する。期末試験では、①～⑥について、授業の目的についての達成度を判断する問題を出題する。出題方法として、記述式の問題を出題する。なお、記述式問題では、①～⑥に関する達成度も総合的に判断できるような出題を行う。				試験の答案用紙は返却しないが、模範解答及び全体の得点分布等の評価結果を公表する。なお、希望者には採点した結果を解説する。	
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤	✓						
	⑥	✓						
レポート	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
成果発表	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
ポートフォリオ	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
その他	①	✓	授業終了時に記載してもらおうリアクションペーパーにて理解できたこと等のリアクションを提出してもらい評価する。				前回のリアクションペーパーを参考に振り返りを実施する。	
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤	✓						
	⑥	✓						
備 考								
他 担 当 教 員	なし							
教員の実務経験	社会福祉士として医療機関、高齢分野（地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、介護老人保健施設）で14年相談支援業務に従事。認知症高齢者、知的・身体障害者の成年後見人受任。							
実践的授業の内容	教科書やシラバスの内容に沿って、教員が実践してきた事例（個人を特定できないよう加工）を用いたり、実践内容をソーシャルワークの基本に当てはめて説明を行ったりすることで、学生がより科目内容を具体的に学ぶことができるように学習を進める。							
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉士、精神保健福祉士取得希望者は必ず履修すること。 ・本科目は、登校型授業となるため、大学が示した感染症予防対策の指針を遵守すること。また感染症予防対策の観点から、教員の指示に従わない行動をとった場合には受講を認めないことがある。その場合、授業は欠席として取り扱う。 ・今後の新型コロナウイルス感染症の状況など、社会情勢によって再度シラバスの変更があり得る。 ・携帯電話の使用は教員の指示がある時（調べものなど）のみ許可する。 ・飲食（飲み物は可）は原則不可とする。特段の事情がある場合には都度教員へ申し出ること。 							